

「中国・アジア」ダイジェスト

2013.06.17-06.28

*記事は東京発行・最終版

インドでの無料血圧測定会(オムロンヘルスケア=24日付)



6月17日(月)

ホンダ、中国販売を倍増

2015年130万台/12車種投入
ホンダは、中国の販売台数を2015年に2倍超の130万台に引き上げる。合弁自主ブランド車やHVなど新型車を12車種投入して攻勢をかける。HVの現地生産は3年以内に開始する。(6面)

広州市に研究開発会社

TSテック/日系ニーズ迅速に対応
ティ・エスティックは、広東省広州市に研究開発業務を手がける会社を設立する。中国で主にホンダなど日系メーカーの顧客ニーズに迅速に対応できる開発体制を整え受注拡大を図る。(6面)

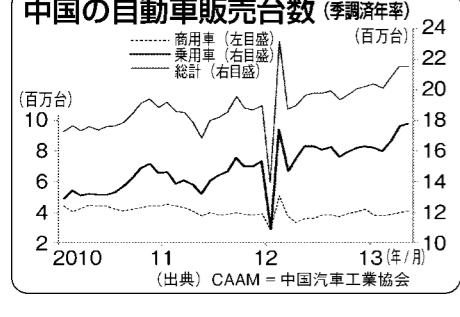
6月18日(火)

JUKI、中国生産を見送り
実装機/人件費が高騰

JUKIは、中国の入件費高騰などの傾向を踏まえ、上海市の工業用ミシン工場で予定していた電子部品実装機の生産を取りやめる。当面は秋田県横手市の工場で実装機本体の生産を継続。(1面)

中国の投資、再び加速

5月車販売最多1780万台/日本総研
中国の投資が再び加速すると予測した調査リポートを日本総合研究所がまとめた。乗用車販売は5月に1780万台と最多を更新、固定資産投資も4月が11%増、5月が18%増と再加速。(2面)



ASIA

6月17日(月)

日産、インドで小型SUV
ルノー車ベースに製版
日産自動車は、インドでルノーの小型SUV「ダスター」ベースの新型車の生産・販売を2013年度中に開始する。インドの新車市場は低調だが、売れ筋のSUVに本格参入する。(6面)

三菱、インドネシア新工場
2016年度めど/市場が拡大
三菱自動車は、2016年度めどに、インドネシアで新工場建設を検討する。中国では現在、現地企業に車両組み立てを委託しているが、車市場の拡大を背景に現地生産体制を整備する。(6面)

三菱マテ、アジア生産委託加速
電子デバイス増産
三菱マテリアルは、温度センサーなどの電子デバイスで生産委託先の開拓に乗出する。アジアの新興国に立地する企業への生産委託を進め、自社の投資負担を抑えて生産量を増やす。(10面)

丸紅、東南アでIPP開発
500万kW²分の発電所建設
丸紅は、タイ石油公社傘下で発電事業会社のグローバルパワーシナジーとタイなど東南アジア4カ国での新規IPP事業の新規案件の発掘や共同開発で覚書。500万kW²分の発電所を建設。(13面)

6月18日(火)

合併よりも独資-インド進出
合併84%が失敗/インド社調べ
「合併よりも独資」。インドのコンサルティング会社がインド企業と外国企業との合併114社に調査。84%の合併が失敗しているとの結果が出た。テクノバは「独資での進出が好ましい」。(3面)

日産、生産委託を中止
三菱自・トラック/新工場稼働
日産自動車は、タイで三菱自動車への1トピックアップトラックの生産委託を2014年にも中止する。同年8月にタイで新工場を稼働し、生産能力の不足が解消されるため。(5面)

大川原製作所、東南ア生産拠点
乾燥装置/マレーシアなど候補
大川原製作所は、乾燥装置でASEANに生産拠点を設置する。タイ、インドネシア、マレーシア、ベトナムのいずれかに駐在員事務所を開設、独資か合弁か決める。中国に次ぎ2カ所目。(7面)

インドでの無料血圧測定会(オムロンヘルスケア=24日付)



中国で高付加価値品も開発

テルモ/現地の医療ニーズ即応
テルモは、中国法人での製品開発をカーテルのような高付加価値製品まで広げる。現地開発は注射針などが中心だった。製品企画から手がけ現地の医療現場にあった製品を提供。(13面)

リン酸フリーダ下地処理剤を製販
貴和化学薬品/塗装用

貴和化学薬品は、中国でリン酸フリーダ下地処理剤の製造販売を始める。リンは河川や湖を富栄養化し赤潮などにつながる。政府や自治体による規制路基板の需要が伸びている。(25面)

6月19日(水)

水の再利用、日中がISO幹事
水処理の性能評価基準

ISOは、水の再利用に関する国際規格を策定するための専門委員会を設置、幹事国に日本と中国を選んだ。水処理システムや水処理膜の性能を評価する基準をつくり、2016年にも発行。(1面)

6月20日(木)

「キャデラック」上海工場着工
年10万台/上海GM
上海GM(米GMと上海汽車の合弁)は、上海市内で高級車「キャデラック」

の工場を着工した。本格的な現地生産で、操業する2015年には現在の3倍の10万台を販売。(時事=5面)

6月21日(金)

銅箔、30%増産-月1300t
福田金属箔粉/家電プリント基板向け

福田金属箔粉工業は、中国の銅箔生産の新機を建設、7月稼働する。生産能力を30%増の月産1300tに引き上げる。中国では家電製品などに用いるプリント回路基板の需要が伸びている。(27面)

6月24日(月)

TOWA、中国向け現地生産
半導体パッケージ装置/低価格機

TOWAは、中国市場向けの半導体パッケージ装置の現地生産に乗り出す。機能を絞り込み、部材を現地調達してコストを下げる機種を商品化。台湾や中国メーカーと競合できる価格水準。(1面)

ダイジェット工業、金型で合弁
自動車部品生産用

ダイジェット工業は、河北省で自動車部品生産用冷間鍛造金型の合弁会社を7月に設立する。中国での自動車市場拡大で金型の現地生産を決めた。中国・黄隣市泰昌五金製品との折半出資。(7面)

6月19日(水)

TOWA、中国向け現地生産
半導体パッケージ装置/低価格機

TOWAは、水の再利用に関する国際規格を策定するための専門委員会を設置、幹事国に日本と中国を選んだ。水処理システムや水処理膜の性能を評価する基準をつくり、2016年にも発行。(1面)

6月20日(木)

「キャデラック」上海工場着工
年10万台/上海GM
上海GM(米GMと上海汽車の合弁)は、上海市内で高級車「キャデラック」

の工場を着工した。本格的な現地生産で、操業する2015年には現在の3倍の10万台を販売。(時事=5面)

マレーシアでマンガン系合金鉄
年16万9000t/住商が参画

住友商事は、マレーシアでマンガン系合金鉄の製造販売事業に参画する。マンガン系合金鉄を年約16万9000t製造し、アジアを中心とする周辺国に販売する。共同で現地事業会社に出資。(12面)

インドネシアに物流会社
双日/工業団地入居企業向け

近鉄エクスプレスは、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、ベトナム、インドの東南アジア6カ国で物流施設を増設する。東南アジア発米国向け

などの貨物需要が増加。(14面)

6月20日(木)

「ハラル認証」の研修センター
都内に9月/開発公社とアトティス

マレーシアのハラル産業開発公社とアトティスは、都内にイスラム教の戒律に従い食品加工や化粧品などを製造したことを見証する制度「ハラル認証」の研修センターを9月にも開設する。(21面)

京都銀行、タイに拠点
取引先の進出支援

京都銀行は、タイ・バンコクに駐在員事務所を9月にも開設する。取引先の進出が進むタイのビジネスニーズに対応。進出の相談、情報提供、コンサルタント、ビジネスマッチングなど。(31面)

6月19日(水)

「ブリオ」でグリーンカー対応
ホンダ/インドネシア生産

ホンダは、インドネシアで導入するローコストグリーンカー計画にアジア専用車「ブリオ」で対応する。優遇税制を受けるには生産の現地化が必要、認定後に現地生産に切り替える。(5面)

6月20日(木)

太陽誘電、インド進出
電子部品/スマホ・車向け

太陽誘電は、2014年春をめどに電子部品の販売でインドに進出する。主力のスマートフォン向けの部品に加え、自動車や産業機器など成長市場向けの電子部品を売り込む営業拠点を設ける。(8面)

6月19日(水)

タイ製プレハブ住宅、逆輸入
積水化学/単価40万円・復興支援

積水化学工業は、タイで生産した工業化住宅(プレハブ)を2016年にも日本に逆輸入する。約3.3平方㍍あたりの単価を40万円程度に。被災した東北地域向けに低価格の住宅を提供。(12面)

6月20日(木)

日本流習慣で市場創造
家で血圧を測定/海外の扉開く

家で血圧を測定。海外になかった日本の生活習慣や文化を持ち込み、新市場を創造しアジアなどで成功している例も多い。「日本流習慣」で海外の扉を開けた各社を追った。(深層断面=26面)

6月20日(木)

パイオラックス、165億円投資
韓国・タイ/工業用ファスター

パイオラックスは、2013-15年度に、総額165億円の設備投資に踏み切る。韓国、タイといったアジアを中心に、自動車部品に使われる工業用ファスターなどの生産拠点を増強する。(5面)

6月20日(木)

タイソリュ、インドに新会社
MSソフト導入支援

日立ソリューションズは、インドに、子会社を設立する。米マイクロソフトのソフト「ダイナミクス」の導入支援事業のオフィシャ開発と、運用保守サービスの提供を行う。(8面)

6月20日(木)

シングガボールに植物工場
銀座農園/トマト・メロン

銀座農園は、シングガボールに植物工場を設置して野菜や果物を供給する。1200平方㍍の農地を借り受け、太陽光利用型の植物工場を建設。高糖度トマトやマスカロンなど。(12面)

6月21日(金)

台湾で触覚センサー量産
月産100万個/タッチエンス

タッチエンスは、台湾で触覚センサーの量産体制を2015年にも整える。月産100万個規模の生産網。部品加工から組立てまでの工程ごとに提携工場を開拓する。欧米市場向け輸出拠点に。(7面)

6月21日(金)

大川原製作所、東南ア生産拠点
乾燥装置/マレーシアなど候補

大川原製作所は、乾燥装置でASEANに生産拠点を設置する。タイ、インドネシア、マレーシア、ベトナムのいずれかに駐在員事務所を開設、独資か合弁か決める。中国に次ぎ2カ所目。(7面)

京セラ、知財戦略で中国拠点

東南ア・欧州にも開設へ
京セラは、知的財産戦略を加速するため、特許のライセンス、売却、申請、特許訴訟などを行なう海外拠点の増設に乗り出す。中国に新設、欧州と東南アジアでの開設も視野に入れる。(8面)

受託精密加工、中国で拡充
フェローテック/半導体向け大型

フェローテックは、中国の上海工場と杭州2工場の3拠点で受託精密加工を強化する。日本や韓国の半導体メーカーなどが中国進出に伴い、引き合いが増加。真空チャンバーなど大型製品。(8面)

凸版、紙製飲料容器で協業
中国企業と/製造システム

凸版印刷は、中国・普麗盛社と紙製飲料容器「カートン」の製造システム開発・販売で協業する。年率10%の成長が見込まれる中国・アジアの飲料市場で紙製飲料容器事業を確立する。(8面)

東レ、紙おむつ用不織布増産
年2万t/設備/乳・幼児用急伸

東レは、江蘇省南通市で高機能ポリプロピレン長繊維不織布を生産する東麗新化で年産2万tの設備を増設する。増設後は年産約7万8000t。乳・幼児用紙おむつ市場が伸びている。(10面)

hakkai、蘇州に新工場
精密プラチナ/日系に供給

hakkaiは、江蘇省の蘇州工業園区に精密プラスチック金型と成形の新工場を建設する。電子部品や車載向けスパークエンブレム部品向け。日系メーカーに供給する。約14億円投資。(24面)

6月24日(月)

精密小型歯車を中国で生産
大田精工、キヨタの中国子会社

大田精工は、金属材料などを製造販売するキヨタの中国子会社を買収。精密小型歯車の現地生産に乗り出した。日本から中国に輸出していた製品は段階的に現地生産へ切り替える。(9面)

サンワテクノス、アモイに拠点
工作機械向け電子部品